

1. 単元名 作品完成に向けて

2. 本時の概要

本時は、これまで進めてきた個人探究の成果を形にする「作品完成」の最終段階にあたる。まず、日々の学びを振り返る「LIFEログ」の記入を行う。本日は校内選考の締め切り日であり、表紙以外の作品内容を全て完成させる必要がある。締め切りを意識して集中して作業に取り組むことで、情報を整理し、他者に伝えるための表現を磨く。教員は生徒の進捗を個別に確認し、適切な助言を行う。このプロセスを通じて、生徒が自らの探究活動に区切りをつけ、達成感を得ることを目的とする。次回の表紙作成や製本、その後の発表会へと続く一連の流れの中で、本時は「内容の質」を担保するための極めて重要な回と位置付けられる。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:**「LIFEログ」の意義とルーブリック(レベル3)を理解し、日々の体験から自己の成長や課題を言語化する「成長に繋がる振り返り」を記述できるようになる。
- **作品提出に向けて仕上げる:**校内選考の締め切りを意識し、表紙以外の作品内容を全て完成させる。これまでの探究の成果を論理的かつ効果的にまとめ、提出可能な状態まで仕上げることができる。
- **今後の予定の把握:**今後のスケジュール(表紙作成、製本、提出、発表準備)を正確に把握し、次の授業に必要な持参物の準備や、自宅での印刷の可否について適切に判断・報告ができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第13回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
2分	①本時の内容説明 ・本時の流れ(LIFEログの記入、今後の予定確認、作品制作活動)について把握する。 ・本日は「校内選考の締め切り」であり、表紙以外を完成させる日であることを理解する。	・本時のゴールを明確に提示し、制作活動への集中力を高める。 ・スライドを用いて視覚的に提示する。
9分	② LIFEログ説明と記入ワーク ・SchoolTaktを開き、8月の振り返りを記入する。 ・教科学習、探究、行事等から内容を選び、4～5行を目安に記述する。 ・内容を一言で表すタイトルを付ける。	・文字サイズは自動調整されるため変更しないよう指示する。 ・単なる事実の記録(レベル1)ではなく、レベル3(自己の変化)を目指すよう促す。 ・書ききれない場合は複製機能を使うよう伝える。
5分	③ 今後の予定 ・校内選考の締め切り、次回の表紙作り(色鉛筆等持参)、印刷の申し出等について確認する。 ・表紙作成にはCanvaも利用可能であることを知る。	・家庭で印刷ができない生徒を把握し、対応を個別に指示する。 ・次回の持参物(表紙づくりに必要なもの)を確実にメモさせる。
34分	④作品制作活動(前半) ・本日中の完成を目指し、各自の探究レポートを書き進める。 ・これまでの調査データや写真、考察をまとめ、内容を磨き上げる。 ・表紙以外の全ページを完成させる。	・全員の進捗を机間指導で確認する。 ・執筆が遅れている生徒に対し、具体的な助言を行い、サポートする。
【2時限目】		
49分	⑤作品制作活動(後半)	・全員の進捗を机間指導で確認する。
1分	⑥次回の予告と最終確認 ・本日中に表紙以外を完成させることを再確認する。 ・次回の授業で作業が必要な場合を見越して、必要な準備を整える。	・本日中に終わらなかった生徒に対し、次回の授業でも作業時間を設けることを伝え、フォローする。